

はぐるま

平成29年1月発行

91号

目次

- ・新年のごあいさつ —2
- ・脊椎の病気とMRI ①—3
- ・リハビリテーション科紹介 —4
- ・看護部紹介 —5
- ・感染対策の取り組み —5
- ・恒貴会の福利厚生について —6
- ・恒貴会・恒徳会グループカレンダーを作成 —6
- ・恒徳会だより —7
- ・外来診療担当医表/編集後記 —8



あけましておめでとうございます



医療法人 恒貴会 理事長
協和中央病院 院長

中原 昇

平成29年を迎えまして、今年も良い一年になりますように皆様も祈られていると思います。

昨年はイギリスのユーロ離脱やアメリカの新大統領など驚くようなことがいくつかありました。恒貴会も昨年いくつかのことがありましたので簡単に振り返ります。

年が明けて間もなく協和中央病院では新しいMRIが稼働し始めました。地域医療再生基金の一部をいただき高性能の医療機器を導入しました。4月からは放射線専門医の阿武先生が着任され、このMRIを巧みに駆使して、診療に貢献してくれております。地域の医療に貢献できることと思います。

5月には協和ヘルシーセンターの新しいりハビリ棟が増築され、ご利用者様の受け入れ数を大幅に増加させています。現在各方面から在宅医療の強化を求められているところであり、こちら地域医療に貢献することと思います。

また残念なことではありますが、医療法人恒貴会そして社会福祉法人恒徳会に大きな貢献をいただきました、理事の久野衛氏が病気に倒れ帰らぬ人となりました。二つの法人にとっては痛手ではありますが、これまでいただいたご苦勞に感謝し、冥福を祈る次第であります。

さて平成29年はいかなる年になりますことやら。

最近少子高齢化、莫大な医療費の増加などから、今までの医療を漠然と続けることを反省して地域医療構想なる会が開かれております。将来の疾病、患者さんの年齢構成、人口数の変化、医療費などを考慮し、どのような医療形態が将来もっともよいのかを考えます。超急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅などの医療を整理しなおして無駄のない医療を提供し、効率の良い医療の提供を目指すものです。また高齢者が、住み慣れた環境で健全な生活をいつまでも続けられるよう医療・介護・自治体が一緒になって地域包括ケアなる考え方も進行しております。効率の良い医療・介護サービスにより地域でいつまでも元気で生活する、必要に応じた各種サービスを提供するものです。医療・介護の形態も徐々に変化してゆくことでしょう。

そして来年にはこの地域の医療を担う新しい病院が開院することになっています。これまでの医療地図が大きく変化しますが、地域住民にとっては恩恵があり喜ばしいことと思っています。我々民間病院も今まで以上に地域住民が欲しているサービスをより細かく理解し、より適切なサービスを提供していかなければいけません。

今年も地域の皆様方のためにより良い医療、介護サービスを提供しようと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成29年が皆様にとって良い年になりますよう祈っております。

年 頭 所 感



社会福祉法人 恒徳会
理事長

村田 桃代

新年にあたりご挨拶を申し上げます。

昨年中は皆様方には大変お世話になり感謝いたします。

本年も皆様のご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて昨年も様々な出来事がありました。数ある中で最も重大なニュースの1つは米国大統領選でのドナルド・トランプ氏の勝利ではないでしょうか。背景には米国における格差社会があるといわれますが、トランプ氏自分達にとって必要のない社会的弱者排除の姿勢や徹底したアメリカ孤立主義が、今後世界に、そして日本にどのように影響していくのか、大変気になるところです。

日本も30年ほど前は一億総中流時代といわれていたが、年々、所得格差が進行、貧富の差がひろがっており、内閣府がまとめた資料によれば2014年に発表された相対的貧困率（一般的な所得の半分未満で生活する人の割合）は16.1%であり、特に高齢者とひとり親世帯で多くの割合を占めていること、また経済的理由により就学困難と認められ就学援助を受ける小・中学生は15.6%と過去最高となっているとのこと。人間だれしも余裕がなくなると自分が生きていくのに必死になり、他人を思いやることができなくなるのも事実です。さらに将来を担うべき子供たちが十分な生活や教育を受けられなくなることは、今後深刻な状況になっていくことを意味しています。

そして昨年のニュースの中で衝撃的であったのは相模原障害者殺傷事件です。

犯人が大麻を用いていたとの報道もあり、理性的な判断ができなくなっていた可能性もありますが、施設で働く中での障害者に対する気持ちの変化、そして最終的に無条件に障害者は生きている価値がないので死んでしまった方がよい、自分は正義であるといった態度と行動があまりにも強烈な印象を残すとともに、非常にやるせない思いがしました。

障害者のみならず、高齢者、貧困者など社会的弱者への福祉は無駄であるという考えがまかり通っていけば、結局は社会全体に不安や閉塞感がつきまとい、さらにすすんでいきます。自分もいつかは何らかの形で社会的弱者になっていくことを忘れてはならないと思います。改めて社会福祉の重要性を念頭に置かなければなりません。

今年は社会福祉法人改革として、4月1日より改正社会福祉法が施行されます。今後、一層大変な時代へと向かっていく中で、地域に貢献できる法人として新たなスタートをきることになります。

皆様の引き続きのご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

脊椎の病気とMRI ①



協和中央病院
放射線科
部長
阿武 泉

腰 椎

腰椎は5個の腰椎椎体からなる、上方は胸椎、下方は仙椎（仙骨）につながっています。

身体を支える機能として最も重要です。酷使され、荷重がかかるため、骨も傷み、椎間板も変性を起こし、椎間板ヘルニア、椎間板症が起りやすいのが腰椎です。

椎間板は血流がほとんどなく、加齢と椎間板変性は同時に進行しているといっても過言ではありません。20代から既に変性が起こるとされています。

腰椎には骨に囲まれた穴状の脊椎管があり、その中を馬尾（ばび）という神経の束が通っています。この馬尾から左右一対の神経根が出て、例えば脚に主に分布する座骨神経に連続します。この神経根が侵される高さにより脚の外側が痛くなったり、内側が痛くなったりします。この神経が椎間板ヘルニアにより圧迫されると脱力、しびれが生じます。さらに座骨神経痛を引き起こします。椎間板ヘルニアは左右どちらかに偏る場合が一般的で、痛みは左右どちらかというのが一般的といえます。

その他、腰の故障として腰痛がありますが、椎間板ヘルニアでも腰痛はありますが、腰痛の原因としては種々の原因があります、例えば腰椎関節の痛み、椎体の骨折、癌の転移、炎症、腎臓から

の痛み、膵臓からの痛み、癌などがリンパ節に広がった場合など多数の原因が考えられます。

このことから、腰痛、座骨神経痛がこの病気から来ているのかを診断するのは重要なことです。

解 剖

椎間板は線維輪というドーナツ状の輪に囲まれ、内部には髄核という比較的柔らかい物質が充填されています。この線維輪が破綻して髄核がとびだすのが教科書的な椎間板ヘルニアです（→）。原因としては加齢、変性、外傷その他の素因が関わっています。しかし純粋な髄核脱出のみの病変は若者以外には少なく、中年以降の椎間板の病変は、加齢、酷使により骨の変形、線維輪の変形、骨棘（骨の出っ張り）の突出、靭帯の肥厚などの複合的な原因により神経の圧迫が生じてきます。したがって、高齢者には純粋な椎間板ヘルニアはほとんどありません。手術をする場合には神経の圧迫の原因、場所、骨の状況、脊椎管の大きさなどを正確に診断しておく必要があります。

- CTでは骨は明瞭に見えますが、神経、椎間板の状態はあまりよく見えません。
- MRIは椎間板、神経、筋肉、靭帯などを同時に診断でき、腰痛、座骨神経痛の診断に現在では第一選択の診断方法です。

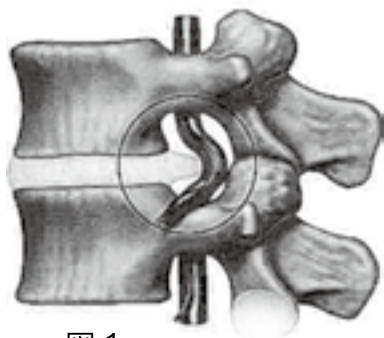


図 1

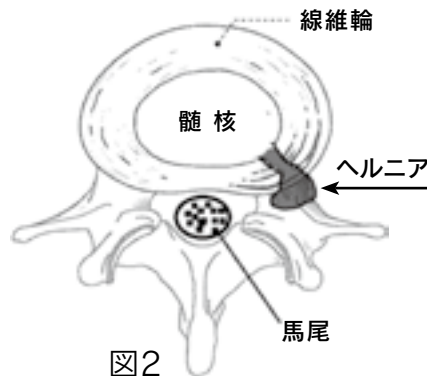


図2

図1 腰椎側面像。○印の部分で神経（馬尾）を圧迫、神経の障害がおこる

図2 椎間板の線維輪という輪状構造が裂けて髄核が外側後方に脱出。はみ出した髄核が神経を圧迫し、しびれ、痛みを生じる。

*次号にて詳しく病気について掲載していきます。

協和中央病院 リハビリテーション科

紹介

リハビリテーションスタッフ



リハビリテーション科 科長
須田 浩二

当院のリハビリテーションは平成2年に施設基準を取得して以来、多くの患者様にリハビリテーションを提供してまいりました。

当初は理学療法士3人で始まりましたが、創設者久野恒一先生の意向もあり、リハビリテーション部門の充実が図られ、現在は、科全体で理学療法士16名、作業療法士7名、言語聴覚士3名が働いております。

当科の業務内容は、病院の入院および外来患者様を対象とした医療部門、介護サービスの通所リハビリテーションを行う介護部門、地域住民を対象とした地域リハビリ部門に整理されます。

医療部門は理学療法、作業療法、言語聴覚療法を入院および外来患者様に実施しております。対象疾患は脳卒中や骨折、廃用症候群（病気によって寝たきりとなり運動機能が低下すること）、呼吸器やがん、難病、先天性疾患等様々な疾患に対応しております。患者数も開設当初に比べ倍以上増加したため、平成17年にリハビリテーションセンターを拡張するとともに専門職を増員しました。当初は若いスタッフが多く技術不足の面もありましたが、徐々に全体のスキルアップが図られ、質の高いリハビリテーションを提供できるようになってきたと思います。

今後は入院の患者様が休日もありハビリができる体制を整備し、できるだけ活動的な入院生活を送ることで早期に在宅復帰できるように努めてまいります。

介護部門は介護保険における通所リハビリテーションを平成12年から始め、現在看護師2名、介護士9名、理学療法士3名、作業療法士2名が働いております。当院の通所リハビリテーションは、入浴サービスは行わない代わりに5名のリハビリ専門職を配置し、充実したリハビリテーションの提供を行っております。

今後は患者様の在宅生活を十分把握するとともに、より円滑な生活ができるように具体的な対応を様々な職種と連携しながら実施してまいります。

地域リハビリ部門には医療法人恒貴会のリハビリ関係者全てが携わっております。当院は平成14年に茨城県地域リハ・ステーション、平成17年に地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、地域住民の健康とQOL（生活の質）増進のためにリハビリテーションの立場から支援を行っております。具体的には市民講座やリハビリ教室の開催、専門職研修会の開催、リハビリ相談窓口設置、特別支援学校訪問、各市の介護予防事業講師等様々な活動を行っております。

超高齢化社会において地域包括ケアが不可欠な時期の中でリハビリテーションの役割は重要と思われれます。当院では、地域の方々の生活支援、介護予防・高齢者や障害者の社会参加等に市町村と連携し貢献していきたいと考えております。

最後に、当院は近隣にない充実したリハビリテーション施設と自負しております。かかりつけの患者様はもちろんのこと、地域の方々にも当施設をご利用いただける様々な試みを行ってまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

転倒予防教室



そば打ち教室



協和中央病院 看護部紹介

協和中央病院 看護部長
北島 美児

看護部では「患者様と共に歩み満足いただける看護の提供を目指す」を掲げ看護実践しております。私たちは患者様とご家族のお気持ちを尊重し、優しく思いやりのある看護を心がけてまいります。

北1階病棟 看護師長 古谷 恭子

北1階病棟（整形外科）は、患者様を中心に多職種が連携し、骨折・手術などにより生じた身体の機能障害が回復し、自立または支援を受けつつその人の生活の場に戻れることを目指しております。

北2階病棟 看護師長 大和田 和美

急性期の重症患者様が多く入院している内科病棟です。慢性疾患をもつ高齢の患者様が多いため、多職種連携し退院支援を実施しながら、安全・安楽な看護の提供に努めております。

南2階病棟 摂食・嚥下障害看護認定看護師 看護師長心得 小河原 幸子

脳外科病棟は、急性期から多職種連携の中心として、病状を把握し多職種と情報共有しながら自立支援を目指しております。患者様の笑顔を引き出し、早期に生活の場に戻っていただけることが目標です。



外来 皮膚・排泄ケア認定看護師
副看護部長・看護師長
高橋 安子

「病院の顔」ともいえる外来では、笑顔で地域の皆様をお迎えし、サポートをさせていただきたいと思っております。ぜひ、お気軽にご相談ください。

新館2階病棟 看護師長心得 三橋 真理子

消化器外科病棟では手術の患者様が多く入院しております。手術後の痛みのコントロールや、退院後の生活に関する説明や指導を行っております。患者様にご満足いただけますよう寄り添った看護ができるよう心掛けております。

手術室 看護師長 児山 万亀子

協和中央病院では、年間約800件の手術を行っております。患者様に安全・安楽な手術を受けていただけますよう主治医、麻酔科はもちろん、他科の医師、看護師間の連携を図り、手術室看護を提供しております。

新館3階病棟 看護師長 相澤 明美

48床の混合病棟です。年齢層が幅広く幼児から高齢者まで入院しております。白内障手術や歯科口腔外科の手術治療など急性期疾患の看護と、地域包括病床は多職種と連携して患者自立へ向け退院支援を行っております。

地域医療連携室 専任退院調整看護師 副看護部長 仁平 洋美

入院患者様の病棟配置、院内の病床管理、転院相談の窓口などの業務を行う部署です。また専任退院調整看護師として退院支援を行っております。

医療安全管理室 専従リスクマネージャー 看護師長 高野 直江

「人間はエラーを犯すもの」という観点に立って、個人の責任を追及するのではなく、事故を発生させた安全管理システムの不備や不十分な点に注目し根本原因を改善していく活動をしております。

協和中央病院の 感 染 対 策 の 取 り 組 み に つ い て

院内には、手術、治療、高齢などのため体の抵抗力が低下した方が多くなっており、通常では病気を起こさない菌等による感染症や抗菌薬が効きにくい菌による感染症の危険性が増えている現状があります。入院によって新たに感染症になることは本来必要のない治療をすることとなり、患者様に大きな不利益をもたらします。また、針などの医療器具を誤って刺してしまつて医療従事者が感染症になる危険性もあります。そのため、当院では感染対策委員会や感染対策室の設置を行い様々な活動を続けております。

感染対策室は医師、感染制御実践看護師（専門的な研修を終了した看護師）、薬剤師、臨床検査技師がチーム（ICT）を組み、院内における患者様と職員を医療関連感染から守るため、定期的な院内の巡視、お知らせや研修会による職員の啓発、マニュアル作成、院内感染サーベイランス（監視）の実施、緊急対応などの取り組み

を行っております。また、各部署にはリンクナース・リンクスタッフを配置し現場でも様々な活動を行っております。

現在、さらに感染対策の強化をし、感染防止対策加算Ⅰ、感染防止対策地域連携加算を取得して、様々な病院と連携して感染対策に努めております。さらに、筑西保健所管内の9病院とも連携しネットワークを構築し、地域全体で協力し、感染対策強化のための活動も行っております。

感染対策はどんな仕事をしているかご存じない方も多いと思いますが、病院を縁の下から支える重要な役割を担っており、様々な活動を実施することで、より安心していただける医療を目指して努力を続けております。



協和中央病院 感染対策室
感染制御実践看護師
森田 和明

医療法人恒貴会の福利厚生について

H29年1月現在

●自己啓発に関する事

1. 看護奨学金制度（奨学金・進学準備金・就職準備金等）
2. 資格取得支援制度（認定看護師資格取得時の支援・准看護学生の支援）

●ワークライフバランスに関する事

1. 職員食堂食事代の助成
2. 院内託児所完備（保育士8名・24時間体制）
3. 華道クラブ
4. 東急ハーヴェストクラブ加入（鬼怒川・那須・旧軽井沢・その他）
5. ナクアリゾートクラブ加入（那須・白浜・鱒ヶ沢・小豆島）
6. 旅行の割引制度
7. 英会話教室 優待制度
8. 介護サービス他 優待制度
9. 葬祭費用等割引制度
10. 自動車購入 優待制度
11. 車修理・整備等割引制度
12. レンタカー 優待制度
13. 飲食サービス 優待制度
14. 大手レストランカラオケ 優待制度
15. 一般家庭内消毒業務 優待制度



※当会の福利厚生制度は地域の多くの企業の協賛を受け、とても充実しております。
(人事課)

「華道クラブ」を紹介します

華道とは、四季折々の樹枝・草花などを切って花器に挿し、その姿の美しさ、いのちの尊さを表現し観賞する芸術です。その季節に合った草花を切ってアレンジしますが、同じ草花を使っても人によって異なった作品になるのも華道のひとつの魅力です。華道は茶道などの他の諸芸と同様、礼儀作法を大切にする日本の伝統的な芸術なので、それを病院で学べるのはすばらしいことだと思います。毎週木曜日小河原先生を講師にお呼びし、アットホームな雰囲気で行っております。
(医療安全管理室 専従リスクマネジャー 看護師長 高野直江)



『恒貴会・恒徳会グループカレンダー』を作成しました

当院では、各病室に掲げるカレンダーを作成しました。このカレンダーは、今年初めて作成したもので、医療スタッフの意見をもとに、ご高齢の方にも見やすいようにと文字の大きさを考慮し作成しました。

また、カレンダーには患者様やご家族の方など当院を訪れた多くの方の目に触れ、協和中央病院グループを知ってもらえる機会が増えることや患者様と医療スタッフとの共通の明るい話題ができることを願って、作成しました。
(経営企画課)



恒幸園



恒幸園
デイサービスセンター
生活相談係長
上野 公一

協和幼稚園ふれあい訪問

「可愛いねぇ!」「どこから来たの?」
ダイルームに集まった利用者様たちから歓声があがりました。

毎年10月になると、「ふれあい訪問」と称して、近所の協和幼稚園(飯田照代園長)の園児たちが遊びに来てくれます。お遊戯や、歌に合わせた肩たたきまで披露してくれると、利用者様からも「ああ気持ちいい」「うちの孫そっくり!」などと、園児との会話に花が咲いておりました。利用者様にとっては至福のひと時だったようで、感極まって涙をこぼす方もいらっしゃいました。

恒幸園の職員からは、戦隊ヒーローによる動物当てクイズが出題され、園児たちも無邪気に楽しんでいました。

最後には「また来年も来てね!」と利用者の皆様も、笑顔で手を振っておりました。



すみれ園



すみれ園
生活支援主任
篠崎 朝美

紙すきスタート

平成28年度より、新たな活動として紙すきを開始しました。毎週金曜日の午前中に、6名程の利用者様が活動しております。今年特別支援学校を卒業された利用者様が、在学中に紙すきを行っていた経験を活かし、活動の中心となり、初めての方々は、工程を覚えながら、楽しい雰囲気の中で活動を行っております。

紙すきの工程をご紹介します。牛乳パックを一晩水に浸けて、両面のビニールを剥がし、中身の紙のみを使用します。紙を細かくちぎり、ミキサーにかけたものを型取りして、乾燥させ整形すると作品が完成します。今年度は、しおりやコースター等を作成することができました。今後の目標として、より品質を高めるために、プレス機を導入して商品化を進めることや、美術品の作成など、活動の幅を広げていきたいと思っております。



堇授園



堇授園
職業指導係長
飯田 信宏

生産活動(受注企業)のご紹介

当園では現在、社会福祉に理解のある企業9社より軽作業をいただいております。その中で箱折り作業についてご紹介したいと思います。同市内にある協和施設園芸協同組合(KEK)様と有限会社NKKアグリドリーム様よりトマト箱・きゅうり箱・イチゴ箱・スーパーフルーツ箱の箱折り作業をいただいております。利用者様が箱を折り、10箱重ねてもらいそれを紐でしばりパレットに載せてフォークリフトでトラックに積んで納品となります。その後協和施設園芸協同組合様・有限会社NKKアグリドリーム様がトマト等を規格ごとに選別して首都圏等へ出荷されます。箱折り作業はベテランの利用者様が多く作業意欲も高いです。最盛期には2社へ1日に5,000箱以上納めま

す。その場合、普段は他社の作業を行っている利用者様にも協力していただいております。今後も利用者様・職員で共に協力し合いながら共働していこうと思っております。



桃香園



桃香園
生活支援係長
米川 大介

防犯研修を開催しました

昨今の様々な事件のニュースを受け、今一度施設の防犯対策を見直すために、桜川警察署生活安全課の皆様にお越しいただき、防犯研修を開催しました。

防犯対策の重要なポイントとして、緊急時の通報体制や不審者が侵入した際の避難方法など全職員が行動できるように周知すること、普段から来園者への声掛けを行い不審者の早期発見と進入を防ぐ対策などが重要とお話をいただきました。その後、不審者が侵入した時の対応として、刺股(さすまた)等を使った不審者対応を実演していただきました。

刺股で不審者を捕まえようとするのではなく、刃物を所持している可能性もあるため、刺股で相手との距離をとり間合いを取りながら威嚇し圧迫感をあたえ、警察の到着まで対応することが重要との説明を受けました。

避難訓練など火災に対する訓練は実施してはいましたが、今回初めて防犯の施設内研修を実施しました。近年、殺傷事件などのニュースも多いため、利用者様の安全、自分たちの安全を守るためにも、今回の研修で学んだことを生かし、職員全員で防犯の意識を高めて行きたいと思っております。



外来診療担当医表 平成29年1月

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	
		2	五味	長	黒川	大谷	長	
●脳外科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。								
外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	石川	
		2	石川	石川	降旗	降旗	石川	
内科	午前	1	玉野 <small>内科</small>	玉野 <small>内科</small>	玉野 <small>内科</small>	川越 <small>内科</small>	川越 <small>内科</small>	長山 <small>内科</small>
		2	川越 <small>内科</small>		木村 <small>内科</small>	荻野 <small>循環器・内科</small>	磯田 <small>内科</small>	
		3	福島 <small>内科</small>	磯田 <small>内科</small>	阿部田 <small>内科</small>	福島 <small>内科</small>	武井 <small>内分泌内科(糖尿病)</small>	(予約)新保 <small>循環器内科</small>
		5	田島 <small>循環器・内科</small>	大内 <small>内科</small>	磯田 <small>内科</small>	阿治部 <small>消化器・内科</small>	大内 <small>内科</small>	大内 <small>内科</small>
		7	前田 <small>呼吸器・内科</small>	村上 <small>内分泌内科(糖尿病)</small>		磯田 <small>内科</small>	海老澤 <small>内科・漢方外来</small>	
	午後 <small>(予約のみ)</small>	1	阿治部 <small>消化器・内科</small>	村上 <small>内分泌内科(糖尿病)</small>		竹森 <small>内科</small>	小笠原 <small>神経内科</small>	
		2	大場 <small>循環器内科</small>					
●内科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがあります。●午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
専門外来	午後	村田 <small>睡眠呼吸障害(予約のみ)</small>	加藤 <small>漢方専門外来</small>		菱田 <small>頭痛専門外来</small>			
	午前・午後 <small>(午後予約のみ)</small>		福田 <small>循環器・内科</small>					
小児科	午前	中山	長尾	長尾	佐藤	黒澤	自治医大(交代制)	
	午後	中山	長尾		佐藤	黒澤		
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村 第2 藤田	
	●月・木・土(第2)の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1、3、5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。							
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		岡本			宮本		
泌尿器科	午前		別納		獨協医大(交代制)		幸	
	●泌尿器科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。●土の受付は10:30までとさせていただきます。							
眼科	午前・午後		高山	高山 <small>(午前のみ)</small>	山下・竹村(交代制)	高山 <small>(午後は予約のみ)</small>		
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 <small>(土は午前のみ)</small>	1	串田	串田	串田	岡田	串田	
		2	大田原	大田原	大谷津	大田原	大田原	
専門外来	午前	第2、第4 神部 第3 野口				第2、第4 森		

※受付時間《午前の部》月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00
 ※水・土の午後及び日・祭日は、休診です。
 ※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》皮膚科・眼科 (13:30~15:30) 診療開始 14:00
 眼科(木) (13:00~15:00) 診療開始 13:30
 内科 (13:30~16:30) 診療開始 14:00
 頭痛専門外来(木) (13:00~15:30) 診療開始 13:30
 小児科 (14:30~16:30) 診療開始 15:00
 歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

脳神経外科・内科・呼吸器科・外科・消化器科
 整形外科・眼科・泌尿器科・皮膚科・小児科
 麻酔科・放射線科・リハビリテーション科
 歯科・歯科口腔外科・漢方内科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail:kyowa@kokikai.com



協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail:minami@kokikai.com



協和ヘルシーセンター

介護老人保健施設
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail:healthy@kokikai.com



大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail:yamato@kokikai.com



訪問看護ステーション

愛美園
 茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail:aibien@kokikai.com



障害者支援施設

すみれ園
 茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail:sumireen@kohtokukai.jp



障害者支援施設

堇授園
 茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp



障害者支援施設

桃香園
 茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail:tohkaen@kohtokukai.jp



新型特別養護老人ホーム

恒幸園
 茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail:koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

新年おめでとうございます。
 今年も新たな1年がスタートしました。
 皆様にとりまして、より良い1年のスタートとなることを病院スタッフ一同願っております。

広報誌「はぐるま」を発行していく中でできるだけ現在の病院や施設等の取り組みをわかりやすくお伝えできればと考えておりますのでよろしくお願ひします。また、皆様から広報誌を見て感想などをいただければ今後の発行に取り入れていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

最後に、91号を発行するにあたり原稿をいただきました皆様、本当にありがとうございました。

(飯泉)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／中原昇
 ●編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平/猪野貴之 廣瀬俊樹